

芸術選択について

筑波大学附属高等学校 芸術科

本校の第1学年の教育課程では、芸術2単位（毎週2時間学習）だけが選択必修です（他の教科はすべて必修科目で、学校の定めた教育課程にしたがって履修するので、選択の必要はありません）。そこで、下記の芸術科目の選択履修および内容に関する説明をよく読み、下記の入力フォームより必要事項を入力してください。（2月18日〆切）

芸術選択等確認フォーム（Google フォーム）

- (1) 芸術の4科目（音楽、美術、工芸、書道）のうちから、いずれか1科目を必ず選択して履修しなければなりません。
- (2) 第1学年で選択した芸術の科目は、第2学年でも引き続き同じ科目を履修します。
- (3) 第3学年では、芸術は自由選択となりますが、選択する場合には「音楽Ⅲ」「美術Ⅲ」「工芸Ⅲ」は第1、2学年でそれぞれ「音楽Ⅰ・Ⅱ」「美術Ⅰ・Ⅱ」「工芸Ⅰ・Ⅱ」を履修していなければなりません。なお、「書道Ⅲ」は開講していません。
- (4) 必ずしも第1希望の科目に決まるとは限りません。第2希望となる場合もあります。書道と工芸には定員があります。第1希望で書道または工芸を選択した場合、第2希望は音楽または美術のいずれかから選択してください。第1希望で音楽または美術を選択した場合、第2希望で工芸、書道は選択できません。
- (5) 芸術選択について、自らの進路に関するような特別な希望がある場合は、フォームに記入してください。
- (6) 芸術科目の学習の内容およびねらいは次の通りです。

【音楽】

- ◇表現 演奏実技（歌唱および器楽）、創作を通して、音楽の本質を体得する。
- ◇鑑賞 多くの鑑賞曲を通して、古今の音楽の文化遺産に触れる。
- ◇理論 実技に必要な基本的な楽典を学習する。

【美術】

- 基礎から現代美術までを、次の分野について表現と鑑賞の両面から学習する。
- 絵画、彫刻、ビジュアルデザイン、映像メディア表現など。

【工芸】

木工、金工、陶芸、ガラス加工等のデザイン・製作および鑑賞を通して、生活の中での工芸やプロダクトデザインの基本的な考え方を理解し、基礎技法を学ぶ。

【書道】

- ◇表現 書の古典にのっとり、実技を学習する。
- ◇理論 書の歴史を勉強し、芸術としての書の現代意義を考える。
- ◇鑑賞 古今の名筆を見ることにより、鑑賞眼を養う。
 - 漢字（篆・隸・楷・行・草書）、仮名、篆刻など。

以上